

2020年6月26日

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院

倫理委員会委員 各位

申請者 林 千絵

## 審査申請書

下記について、審査を申請します。

記

1. 課題名	ホームページの現状と新規患者獲得のための対策
2. 研究者所属氏名	医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 総務課 秘書 林 千絵
3. 研究の目的及び意義	<p>ホームページは費用を抑えながらタイムリーに情報発信、かつ広告宣伝できるツールである。その特性を活かすべく、分析結果を検証し考察することで、病院経営に重要な“新規患者の獲得”にさらに特化したホームページの運用方法を導き出せるのではないかと考えたため。</p> <p>目的：新規患者獲得に特化したホームページの運用方法の考察</p> <p>ホームページの目的を明確にした上で分析、対策を行えば成果につなげやすく、かつ閲覧者にとっても見やすく、役立つものとなるを考える。</p>
4. 研究の実施方法と実施にあたっての倫理上の問題点	<p>ホームページをリニューアルした2018年9月8日以降のGoogleアナリティクスから閲覧者像を分析。次に、その分析結果と実際の来院患者、および脳ドック受診者の比較検証。</p> <p>個人が特定できない統計データのみ扱いとし、オプトアウトで対応するため倫理上の問題点はないと考える。</p>
5. 研究実施期間	2018年9月～2020年10月（約2年1か月）
6. 研究の実施場所	関東脳神経外科病院 総務課

ホームページの現状と新規患者獲得のための対策

## 研究計画書

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 総務課 秘書

研究代表者 林 千絵

第1版 作成年月日：2020年6月19日

## 1. 研究名称

ホームページの現状と新規患者獲得のための対策

## 2. 研究実施体制

本研究は以下の体制で実施する。

1. 研究責任者 関東脳神経外科病院 総務課 秘書 林千絵
2. 個人情報管理者 関東脳神経外科病院 病院長 清水暢裕
3. 外部解析機関 なし

## 3. 研究背景・動機

Google アナリティクスから当院のホームページを分析した結果、今まで気づかなかった閲覧者像が顕在化した。

ホームページは費用を抑えながらタイムリーに情報発信、かつ広告宣伝できるツールである。その特性を活かすべく、分析結果を検証し考察することで、病院経営に重要な“新規患者の獲得”にさらに特化したホームページの運用方法を導き出せるのではないかと考えたため。

## 4. 研究の目的および意義

### (1) 目的

新規患者獲得に特化したホームページの運用方法の考察

### (2) 意義

ホームページの目的を明確にした上で分析、対策を行えば成果につなげやすく、かつ閲覧者にとっても見やすく、役立つ。

## 5. 研究実施期間および方法

### (1) 研究実施期間

2018年9月～2020年10月（約2年1か月）

### (2) 研究のデザイン

後ろ向き研究

### (3) 研究の実施方法

まず、ホームページをリニューアルした2018年9月8日以降のGoogleアナリティクスから閲覧者像を分析。

次に、その分析結果と実際の来院患者、および脳ドック受診者の比較検証。

一部2020年6月以降に統計開始。（問診票に当院をどのように知ったかをチェックする項目を追加）

#### (4) 資料・情報の収集方法

##### ホームページ

- ・無料でホームページのレポートを確認できる Google アナリティクス

##### 来院患者

- ・医事課統計資料、およびカルテより得た患者情報
- ・問診票
- ・脳ドック受診者情報

#### (5) 調査項目

Google アナリティクスのウェブサイトデータ、来院患者情報、脳ドック受診者情報

### 6. 評価項目

研究期間終了後ホームページを更新し、新規患者数の割合の増加を確認する。

確認方法は、問診票に追加したチェック項目で、ホームページから当院を知った新規患者数の集計を継続的に行う。

### 7. 研究対象者

2018年9月8日～2020年10月のホームページ閲覧者（見込み約680,000件）、および来院患者（見込み約120,000件）と脳ドック受診者（見込み約550件）

### 8. 研究の変更、中止

本研究の研究計画書等の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ関東脳神経外科病院倫理委員会の承認および病院長の許可を必要とする。

### 9. インフォームド・コンセントを受ける手続き等

#### (1) 研究内容の公開（オプトアウト）

目的を含む研究の実施についての情報を関東脳神経外科病院のホームページに掲載すること、また研究員の連絡先を明記することで研究対象者が拒否できる機会を保障する。

#### (2) インフォームド・コンセント

個人が特定できない統計データのみ扱いとし、特に同意を得ることは無い。

### 10. 個人情報の取り扱いと匿名化の方法

本研究で取り扱う資料・情報等は、個人情報管理者が匿名化し、統計データの扱いとした上で研究・解析に使用する。匿名化の方法については、誰のものか一見して判別できないよう、本研究で取り扱う情報から個人を識別できる情報を削除し統計データとして扱う。また、本研究の成果を学会発表および論文発表する際には、研究対象者の個人を特定できる情報は一切使用しない。

## 11. 研究対象者に生じる負担ならびに予測されるリスクおよび利益、これらの総合的評価ならびに当該負担およびリスクを最小化する対策

閲覧者にとってさらに見やすく、役立つホームページ。リスク、および負担は特にはない。

## 12. 資料・情報の保管および廃棄の方法

研究対象者の本研究終了後に継続する通常診療において活用される従来の診療情報については、医師法等の関連法規に従い保管する。本研究の実施のために匿名化され取得した研究関連情報については、研究責任者の所属する部署の外部から切り離されたコンピューターのハードディスクおよび CD-R 内に保存する。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピューターをパスワード管理、CD-R は鍵付きの引出しで保管し、情報の紛失・遺漏等に十分配慮した取り扱いの上で保管を行う。

本研究終了後において、本研究で得られた研究対象者の情報を他の研究において使用することはない。研究責任者は、研究終了後、研究等の実施に関わるデータおよび文書を研究の中止または終了後少なくとも 5 年間、あるいは研究結果発表後 3 年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存する。その後、個人を特定されないよう処理した上で廃棄する。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・廃棄は医師法等の関連法規の規定に従うこととする。

## 13. 研究期間への長への報告内容および方法

- (1) 研究の実施の適正性もしくは研究結果の信頼を損なう事実等の情報を得た場合研究責任者は、研究の実施の適正性もしくは、研究結果の信頼を損なう事実もしくは情報または損なうおそれのある情報を得た場合は、速やかにその旨を当該病院長へ報告する。
- (2) 研究の倫理的妥当性もしくは科学的合理性を損なう事実等の情報を得た場合研究責任者は、研究の倫理的妥当性もしくは科学的合理性を損なう事実もしくは情報または損なうおそれのある情報であって、研究の継続に影響を与えられと考えられるものを得た場合は、遅滞なくその旨を当該病院長へ報告する。
- (3) 研究終了（中止の場合を含む）の報告  
研究責任者は、研究を終了した時は、その旨および研究の結果概要を文書により病院長へ報告する。
- (4) 研究に用いる資料および情報の管理状況  
研究責任者は、得られた情報等の保管について、必要な管理を行い、管理状況について病院長へ報告する。

## 14. 研究の資金源等、研究機関の研究に関わる利益相反および個人の収益等、研究者等研究に関わる利益相反に関する状況

- (1) 研究資金  
病院にて問診票やレポートの印刷を行うが、研究対象者に費用負担は行わない。
- (2) 利益相反  
本研究の計画・実施・報告においては、利益相反はない。

**15. 研究に関する情報公開の方法**

本研究の成果は病院内発表を予定している。

**16. 研究対象者およびその関係者からの相談等への対応**

本研究における相談窓口は特に設けない

**17. 委託業務内容および委託先の監督方法**

本研究における委託業務なし

**18. 使用文献**

本研究における使用文献なし